

数学

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
数 学	数学B	2	3年次・I 2	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
新編 数学B（数研出版）		Study-Upノート数学B（数研出版）		・数学Iを履修していること。 ・理系進学希望者に適している。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1 学 期	第1章 数列	第1節 等差数列と等比数列 1 数列と一般項 2 等差数列 3 等差数列の和 4 等比数列 5 等比数列の和 第2節 いろいろな数列 6 和の記号Σ 7 階差数列 8 いろいろな数列の和	4	数列やその一般項の表し方について理解する。 また、基本的な数列として等差数列と等比数列を 理解し、それらの和を求められるようにする。ま た、これらの数列を様々な事象の考察に役立てよ うとする姿勢を養う。 和の記号Σの表し方や性質を理解し、活用でき るようにする。また、いろいろな数列について、そ の一般項や和を求めたり、和から一般項を求めた りできるようにする。	1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3
				5		
				6		
				7		
2 学 期	第2章 統計的 な推測	第3節 漸化式と数学的帰納法 9 漸化式 10 数学的帰納法 第1節 確率分布 1 確率変数と確率分布 2 確率変数の期待値と分散 3 確率変数の和と積 4 二項分布 5 正規分布 第2節 統計的な推測 6 母集団と標本 7 標本平均の分布	9	数列の帰納的な定義について理解し、漸化式か ら一般項が求められるようにするとともに、複雑 な漸化式を既知のものに帰着して考えられるよう にする。また、数学的帰納法の仕組みを理解し、様 々な命題の証明に活用できるようにする。 確率変数と確率分布について理解し、期待値や 分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の 特徴を把握できるようにする。また、連続型確率変 数についても理解し、正規分布を様々な日常の事 象の考察に活用できるようにする。	1 2 3 1 2 3	
			10			
			11			
			12			
3 学 期		8 推定 9 仮説検定	1		1 2 3 1 2 3	

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

学 習 評 価	観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○ベクトル、数列における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。定理、公式、記号などが理解できている。 ○ベクトル、数列において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。いろいろな方法（別解）で解くことができる。	○ベクトル、数列に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする ○事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、ベクトル、数列における数学的な見方や考え方を身に付けている。	○学習内容に興味、関心をもち、内容を考察し、自ら調べようとしているか。 ○積極的に問題に取り組んでいるか。 ○日常の事象や社会の事象などに学習内容を関連付け、活用しようとしているか。 ○復習を欠かさず、自己の学習改善に努めようとしているか。
	手 段	・ノート ・定期考査	・定期考査 ・課題、レポート、提出物	・レポート ・課題、提出物 ・授業態度
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		・単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。	
	学習上の留意点	・数列、統計的な推測ともに苦手意識を持ちやすいので、真剣な態度で授業に臨むこと。		